

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第24号）のトピックス

- ・ 佐賀、高知、石川、富山、沖縄、島根で新型インフルエンザ患者が新たに発生
- ・ 第26週(6月22日～28日)の季節性インフルエンザ患者報告数は 24人、定点当たり 0.08人（去年同期 20人、定点当たり 0.07人）
- ・ 世田谷、新宿、文京の3区で新型インフルエンザによる休校や学年閉鎖
- ・ 大阪府がタミフル耐性遺伝子を持つ新型インフルエンザウイルスを分離

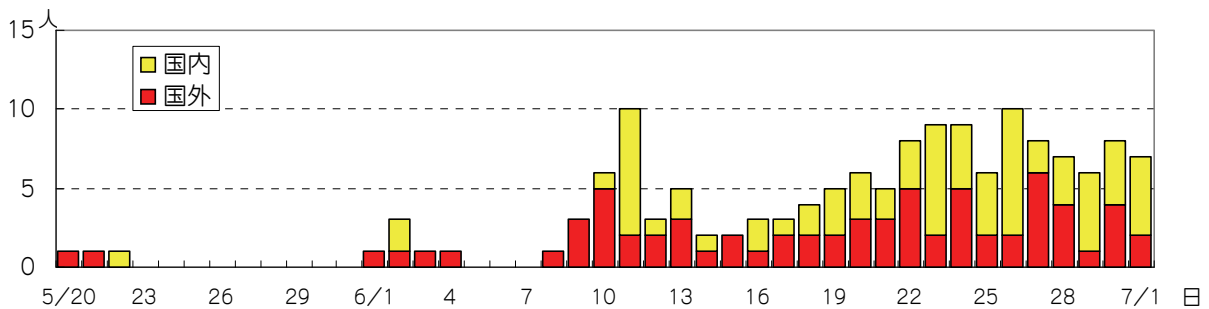


図1. 新型インフルエンザ患者数の推移
(東京都：患者発生届受理日別、感染地域別)

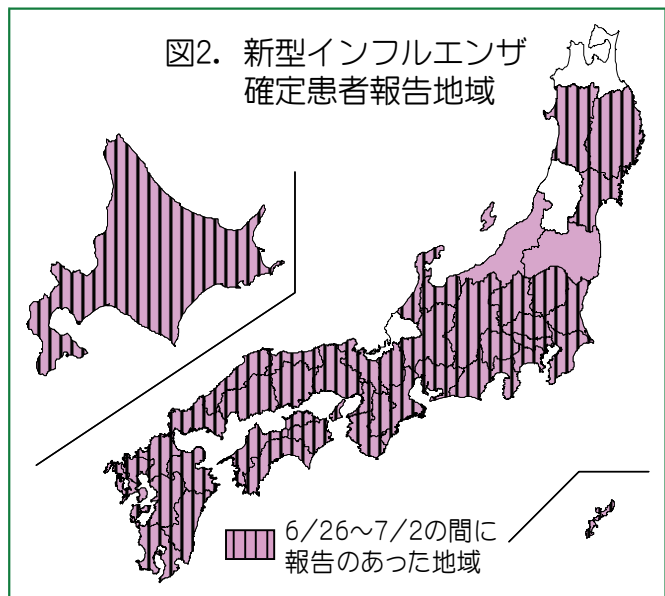
1 新型インフルエンザ患者発生状況

7月2日、東京都は1日正午から2日正午の間に新たに5名の新型インフルエンザ患者が発生したことを公表しました。これにより、2日までに東京都で確認された患者（確定例）は145名になりました（図1）。この145名の情報を推定感染地別にみると、国外71件（49%）、国内74件（51%）となっています。

7月2日午前11時現在、44都道府県から1,428名（国内発生）の患者が報告されています（図2、図3）。6月27日から7月2日には合計42都道府県から報告がありました。このうち新たに報告があったのは、佐賀、高知、石川、富山、沖縄、島根の6県です。

2 季節性インフルエンザ患者発生状況 第26週（6月22日～28日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は 24人、定点当たり 0.08人



と、先週（0.11人/定点）から微減し、去年同期と同程度になっています（去年同期 20人、0.07人/定点）。

【全国】患者報告数は 931人、定点当たり 0.20人です。全国も先週（0.24人/定点）よりやや減少しましたが、過去5年では2番目に

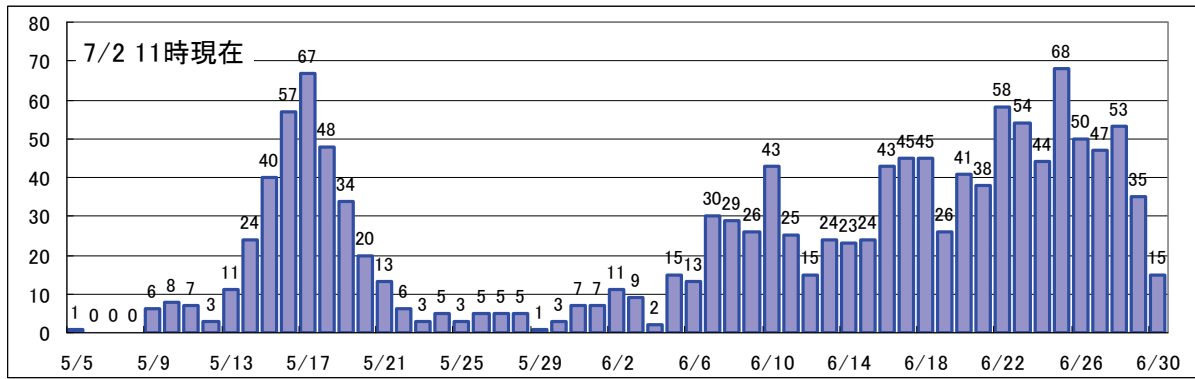


図3. 新型インフルエンザ患者報告数の推移

(発症日別：国立感染症研究所感染症情報センター)

高い値となっています（昨年同期 260人、0.06人/定点）。定点当りの報告数が1人を超えているのは、沖縄県だけです。

3 都内学校の学級閉鎖状況

6月22日～28日に、世田谷、新宿、文京の3区で新型インフルエンザによる休校や学年閉鎖がありました。

4 東京都等の検査情報

(2008年9月以降)

23～25週に感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体からは、インフルエンザウイルスは検出されていません。(表1、図4)。

東京感染症アラート検査（緊急検査）では、新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）が、6月25日から7月1日までに合計52件検出され、累計145件になりました。

7月2日、大阪府は、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離されたことを発表しました。このウイルスについては国立感染症研究所において、薬剤感受性試験等が実施される予定です。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	swH1
36-22週 (9/1-5/31)	965	409	223	111	102	0
23週 (6/1-7)	23	0	0	0	0	0
24週 (6/8-14)	23	0	0	0	0	0
25週 (6/15-21)	23	0	0	0	0	0
合計			223	111	102	0

*swH1:新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)
19週以降に搬入された検体から検査実施

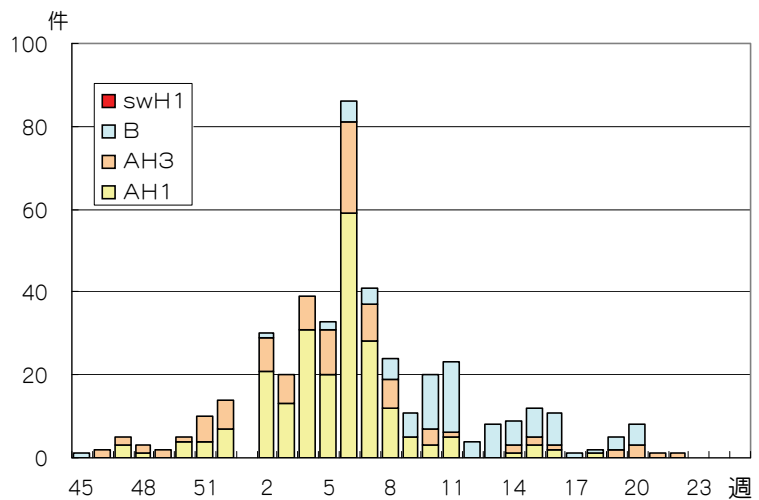


図4. インフルエンザウイルス検出数(都：定点医療機関)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター

微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/